

目次

| | |
|---------------------------------|-----|
| 令和5年度「日本いも類研究会総会」及び「いも類講演会」のご案内 | 1 頁 |
| 令和5年度農林水産省補正予算「甘味資源作物生産支援対策」 | 2 頁 |
| アリモドキゾウムシに関する情報修正 | 4 頁 |
| 令和6年1月～2月に開催する会議等のご案内 | 5 頁 |

令和5年度「日本いも類研究会総会」及び「いも類講演会」のご案内

日時 令和6年3月15日(金)13:00～17:00

場所 日比谷コンベンションホール(東京都千代田区立日比谷図書文化館内)

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4

電話:03-3502-3340

ZOOMウェビナーとのハイブリッド開催

| | |
|---|-------------|
| 1. 日本いも類研究会 総会 | 13:00～13:30 |
| (1) 令和5年度事業報告及び収支報告(案) | |
| (2) 令和6年度事業計画及び収支計画(案) | |
| 2. いも類講演会 | 13:30～16:30 |
| 主催 (一財)いも類振興会 日本いも類研究会 | |
| (1) AIを活用した種ばれいしょ異常株検出支援システムの開発 農研機構種苗管理センター生産連携部連携推進課 課長 | 谷口 浩彰 氏 |
| (2) 鹿児島県におけるPCN抵抗性品種育成と普及への取り組み 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場園芸作物研究室 研究専門員 | 田中 義弘 氏 |
| (3) カネコ種苗におけるサツマイモ育種への取り組み カネコ種苗株式会社 波志江研究所 部長代理 | 榎本 真 氏 |
| (4) 愛媛県におけるサトイモ品種開発と普及について 愛媛県農林水産研究所農業研究部野菜育種栽培室長 | 浅海 英記 氏 |
| (5) 総合討議 | |
| 閉会 | 16:45 |

※講演会終了後、ライブラリーダイニング日比谷において情報交換会(17:00～19:00)を開催
します(会費4千円)ので、是非、ご参加ください。

参加申し込みは、下記のリンク先の申し込みフォームからお願いします。

スマートフォンからは下部のQRコードを読み取ってアクセスできます。

https://www.jrt.gr.jp/imo_koen/koen_r05/r05_entry_member/

オンラインで参加される方には、ご入力いただいたアドレスあてに、事務局からZOOMウェビナーへの参加URL(招待状)を前日までに送信させていただきます

申し込みフォームが利用できない方は、電話(03-3588-1040 担当:中澤)か、FAX(03-3588-1225)で参加する旨を連絡ください。

会員情報として登録されているアドレス宛に招待状を送信させていただきます。

QRコード



甘味資源作物生産支援対策

【令和6年度予算概算決定額 10,696(10,919)百万円】(令和5年度補正予算額 2,628 百万円)

<対策のポイント>

甘味資源作物生産者、国内産糖製造事業者の経営の安定及び砂糖の安定供給を図るとともに、さとうきび等の自然災害からの回復に向けた取組、病害虫への対応、生産性向上、分みつ糖工場やいもでん粉工場の労働生産性を高めるための取組等を支援します

<事業目標>

- さとうきびの 10a 当たり労働時間の削減(30.9 時間/10a[令和7年度まで])
- さとうきびの生産量の増加(153 万 t[令和7年度まで])
- かんしょの生産量の増加(86 万 t[令和 12 年度まで])

<事業の内容> <事業イメージ>

1. 甘味資源作物生産者等支援安定化対策 9,915(10,137)百万円

国内産糖と輸入糖にある内外コスト格差を調整するため、(独)農畜産業振興機構(ALIC)が甘味資源作物生産者及び国内産糖製造事業者に交付する甘味資源作物及び国内産糖交付金の一部に相当する金額を同機構へ交付するとともに、生産者交付金の代理申請者の申請・支払事務経費への支援を行います。

2. 甘味資源作物安定生産体制確立事業 781(781)百万円

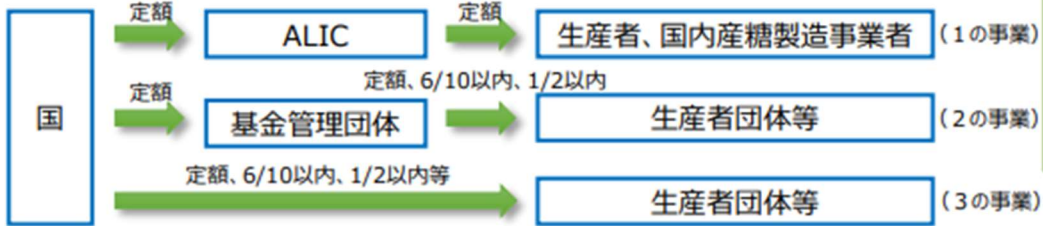
さとうきび増産基金により、さとうきびの台風、干ばつ、病害虫発生等の自然災害への対応及びかんしょの病害虫への対応を支援します。

3. 甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業

【令和5年度補正予算】2,628 百万円

さとうきび・かんしょ産地における持続可能な生産体制を構築するため、病害虫への対応や生産性を向上させるための取組を支援するとともに、分みつ糖・いもでん粉工場の省力化による労働生産性向上の取組等を支援します。

<事業の流れ>



| さとうきび増産基金 | |
|---------------------|---|
| ○さとうきび協定 | |
| 自然災害 | 主な対策 |
| 干ばつ | ・かん水 |
| 台風 | ・除塩（散水） ・苗の補植、改植 |
| 病害虫 | ・病害虫防除 |
| 糖度減少 | ・土づくり ・株更新 |
| その他の災害 | 災害の内容に応じた対策 〔・株出管理作業 ・苗の確保 等〕 |
| ○かんしょ協定 ・病害虫防除対策 | |
| | 主な対策 |
| 当期作への対応 | ・予防薬剤の散布 |
| 次期作への対応 | ・苗・苗床の消毒 ・土壌消毒 ・健全な種いも・苗の導入 ・他作物への作付転換 等 |

| 甘味資源作物生産性向上事業 | |
|--|--------------|
| ○さとうきび | <取組例> |
| 労働生産性と単収の向上を図るため、担い手の育成等を通じた労働力確保や土づくりの推進、機械化一貫体系による省力化等、島ごとの実情に応じた取組を支援。 | 堆肥等を活用した土づくり |
| ○かんしょ | <取組例> |
| サツマイモ基腐病の次期作への影響を最小限にしながらかんしょの持続的な生産を行うための取組やでん粉原料用かんしょの生産性向上及び省力化のための多収新品種への転換や農業機械の導入等を支援。 | 多収新品種への転換 |
| ○分みつ糖工場、いもでん粉工場 | <取組例> |
| 労働力不足の改善のため、省力化・効率化に向けた人員配置の検討、工場全体の工程見直し及び施設整備等労働生産性向上の取組等を支援。 | 労働生産性の向上 |

[お問い合わせ先] 農産局地域作物課 (03-3501-3814)

更新日：令和5年11月29日

アリモドキノウムシに関する情報

アリモドキノウムシ緊急防除の概要

アリモドキノウムシ (*Cylas formicarius*) は、さつまいも等に甚大な被害を及ぼす重要害虫です。令和4年10月、静岡県浜松市において、アリモドキノウムシが確認されたことを受けて、農林水産省は静岡県等と連携して、直ちに初動対応を実施するとともに、発生範囲の特定調査を実施した。

この調査結果を踏まえ、農林水産省では、アリモドキノウムシのまん延を防止するため、令和5年3月19日から植物防疫法に基づく緊急防除を開始し、アリモドキノウムシが確認された大字を防除区域として指定し、防除区域のうちアリモドキノウムシの発見地点として植物防疫官が指定する地点から1キロメートル以内の区域を基本として、アリモドキノウムシが侵入又はまん延するおそれがあるものとして消費・安全局長が定める区域（以下「発生区域」という。）において以下の対策を講じている。

1. アリモドキノウムシの発生区域内における、おおぼろはまあさがお、あさがお属植物、さつまいも属植物及びひるがお属植物（以下「寄主植物」という。）の作付けの禁止
2. 発生区域内に存在する寄主植物の生茎葉及び生塊根等の地下部並びにその容器包装（以下「移動禁止植物等」という。）の発生区域外への移動の禁止
3. 発生区域内に存在する移動禁止植物等のうちアリモドキノウムシが付着し、又は付着しているおそれがあるものとして植物防疫官が指定するものの廃棄

防除区域

静岡県浜松市西区篠原町、坪井町、舞阪町長十新田、舞阪町浜田、舞阪町舞阪、馬郡町、雄踏1丁目、雄踏2丁目及び雄踏町宇布見（9大字）

静岡県浜松市南区小沢渡町（1大字）

発生区域

- (1) 静岡県浜松市西区篠原町 (2) 静岡県浜松市西区坪井町 (3) 静岡県浜松市西区舞阪町長十新田
(4) 静岡県浜松市西区舞阪町浜田 (5) 静岡県浜松市西区舞阪町舞阪 (6) 静岡県浜松市西区馬郡町
(7) 静岡県浜松市西区雄踏1丁目 (8) 静岡県浜松市西区雄踏2丁目 (9) 静岡県浜松市西区雄踏町宇布見
(10) 静岡県浜松市南区小沢渡町

これまでの経緯及び今後の対応

- 令和4年10月 静岡県浜松市において、アリモドキノウムシを確認
アリモドキノウムシの確認地点から半径1キロメートルの円で囲まれた地域において、当該地域で生産又は保管された寄主植物の出荷の自粛、当該地域のほ場内に残存する寄主植物（作物残渣、野良いも等）及び残渣置場等にある作物残渣の除去及び処分、野生寄主植物の除去及び処分等の初動対応を実施。
- 令和5年3月 緊急防除開始（防除区域：浜松市内10大字）
- 令和5年11月 10月及び11月にアリモドキノウムシが浜松市内において誘殺されたことを踏まえて、11月29日に開催された緊急防除に関する検討会において、期間延長について検討した結果、引き続き、まん延防止の対策が必要であることから、緊急防除を行う期間を令和6年3月末から令和7年3月末まで延長することが妥当とされた。

その他

アリモドキノウムシは、さつまいも等の農作物に甚大な被害を及ぼす重要害虫ですが、人畜に毒性・寄生性はありません。

お問合せ先 農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

担当者：国内防除第1班

代表：03-3502-8111（内線4564）ダイヤルイン：03-3502-5976

令和6年1月～2月に開催する会議等のご案内

1. 第2回 キャッサバ ワークショップ

「カーボンニュートラルな循環型社会の実現に向けたキャッサバの研究開発」が
メインテーマ(以下のURLから入ると、参加申し込み等できます。)

<https://www.yokohama.riken.jp/cassava/2024/>

開催日時 2024年1月31日(水)10:00～18:00

開催場所 会場 理化学研究所 横浜キャンパス 交流棟ホール
(神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号)

路線バス JR・京急鶴見駅 東口バスターミナル8番乗降口より

川崎鶴見臨港バス(鶴08系統)「ふれーゆ」行き「理研・市大大学院前」下車 徒歩1分

電車 JR鶴見線鶴見小野駅下車 徒歩15分

オンライン同時開催 Zoom ウェビナーURLは参加登録いただいた方へ後日ご案内をお送りいたします

受付 午前09時30分～ 開会 午前10時00分～

懇親会受付締切り日 2024年01月17日(水) 午後6時まで

参加登録締切り日 2024年01月28日(日) 午後6時まで

問い合わせ先: シンポジウム事務局 E-mail: [cassava_workshop\[a\]ml.riken.jp](mailto:cassava_workshop[a]ml.riken.jp)

2. 第2回第2回コエド芋パーク

開催日時: 2024年2月10日(土)～12日(月・祝)

開催場所: 川越市蓮馨寺境内において開催

住所: 埼玉県川越市連雀町7-1 電話: 049-222-0043

最寄り駅: 本川越駅[東口]徒歩8分

開催内容: 焼き芋や、おいもスイーツ、ミニイベントなど

約30店舗・約50種類の焼き芋・芋グルメが集合する予定です

昨年(令和5年)は2日間で、1万2000人来場しました。

※実行委員長: ベーリ・ドゥエル氏(いも類研究会会員)

コエド芋パークのInstagramはこちらから★

